

平成 22 年 3 月 4 日

報道関係各位

株 式 会 社 U B I C
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏
東 京 都 港 区 港 南 2 - 1 2 - 2 3
(コード番号:2158東証マザーズ)**日本初！国際訴訟支援サービス企業が、解析技術とリスク管理の強みを生かし
知的財産活用支援サービス（パテントマネジメントサービス）を開始**

産業構造変化の中、新規事業エリアに挑む企業の戦略策定・実行を“ハイテクを用いた特許解析”で支援

株式会社 UBIC(以下 UBIC、代表取締役社長:守本 正宏、本社:東京都港区)は、これまで日本で唯一のリーガルハイテクノロジー総合企業として、国際訴訟支援事業(ディスカバリー支援サービス)を提供してまいりましたが、この度これまで培った解析技術、リスク管理技術、国内外の弁護士・弁理士との強固なグローバルネットワークを活用した知的財産活用支援サービス(パテントマネジメントサービス)の提供を開始いたしました。

● 知的財産活用支援サービス(パテントマネジメントサービス)**1)UBIC 特許解析の特徴**

- ・ハイテク技術を用い、大量・多種の特許情報をスピーディーかつ高度に解析
- ・解析結果を可視化し、広い視野での企業戦略をサポート
- ・北米・ヨーロッパ、また中国・韓国に広がる弁護士を含む専門家ネットワークを繋ぎ、グローバルに対応
- ・グローバルな視点での競合分析、アライアンス分析、特許侵害調査

2)UBIC ライセンスエージェントの特徴

- ・高度な調査・分析力を用い、ライセンスや特許売買の交渉における事前の技術調査
- ・特許権者などのバックグラウンド調査を実施し、リスクを予見
- ・弁護士・弁理士を含めた専門家チームによるライセンスや特許売買交渉の実施
- ・事前調査から売買交渉まで、専門家を交えたプロジェクトチームがワンストップでサポート

これらのサービス提供開始によりグローバルに活躍する企業の訴訟対応だけでなく、新規事業策定の準備等、より長いスパンで企業の持つ知的財産の価値を高める支援を行うことが可能となりました。

【UBIC について】

代表取締役社長:守本 正宏 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル 7 階

株式会社 UBIC は、電子データ中心の調査を行なうコンピュータフォレンジック調査サービスや、法的紛争・訴訟の際に電子データの証拠保全及び調査・分析を行う国際訴訟対策支援(ディスカバリー支援サービス)を提供する、リーガルハイテクノロジー総合企業。アジア言語対応能力では世界最高水準の技術と、アジア圏最大の処理能力を有するラボを保有。2007 年 12 月米国子会社を設立。アジア・米国双方からアジア企業関連の訴訟支援を実施。2009 年末からは企業内でも国際訴訟における電子証拠開示対応が出来る機能を持った情報資産管理システムの販売を開始。2003 年 8 月 8 日設立。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ上場。資本金 452,443,750 円(平成 22 年 1 月 6 日現在。) URL: <http://www.ubic.co.jp/>

尚、本件に伴う平成 22 年 3 月期の業績への影響につきましては、現時点で軽微であると考えております。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 UBIC 営業部 TEL:03-5463-7577 FAX : 03-5463-7578